

令和 2 年度 さいたまま市立谷田小学校 自己評価書

校長 井原 政幸 印

1 学校で設定した「令和 2 年度の目標」及び関係する「評価項目」について

(1) Grit : やり抜く力で真の学力を育成する

- ◆主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の充実
- ◆基礎学力の確実な定着と体力の向上

【評価項目】「各教科等の授業」「体力」「研修」「給食管理・指導」「健康管理・健康教育」

(2) Global : 国際社会で活躍できる力を育成する

- ◆豊かな人間性を育てる指導の充実
- ◆グローバル・スタディの充実と国際教育の推進

【評価項目】「道徳科」「グローバル・スタディ」「潤い」「教育相談」「生徒指導」「連携・協力」

(3) Growth : 一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成する

- ◆児童が生き生きと学び、活動する魅力的な学校づくり
- ◆スクール・コミュニティによる連携・協働の充実

【評価項目】「連携・協力」「教育環境」「安全管理・安全教育」

(4) 教職員のチーム力を発揮して「3つのG」を推進する

- ◆教師十戒を肝に銘じ、「やってみせ 言ってみせ 聞いて聞かせて させてみて ほめて伸ばす 谷田の教育」の充実～教育に当たる者として、児童をよりよく育てるために～
- ◆全体の奉仕者としての自覚をもち、「迅速、誠実、適切、アフターケア」「思いやりの報連相対確と協働共励」の実践～全体の奉仕者として、対応能力と組織力を発揮するために～

【評価項目】「教育目標」「教職員組織」

2 評価結果について

(1) 学力向上に関しては、児童アンケート「授業の内容は、よくわかりますか」について、肯定的回答が 98.2%（内、A評価 76.5%）であった。また、保護者アンケート「学校は、授業の工夫や学力の育成に取り組んでいますか」は肯定的回答が 97.4%（内、A評価 58.4%）で、学習に関する全質問において肯定的回答が 95%以上の高い評価となっており、コロナ禍での制限された教育活動の中、研修や工夫した授業実践の成果であると考ええる。

(2) 心の教育に関しては、保護者アンケート「学校は、思いやりの心や協力し合う態度などを育てる活動に取り組んでいますか」、児童アンケート「友だちとなかよく活動していますか」について、肯定的回答がそれぞれ 98.2%（内、A評価 59.1%）、98.8%（内、A評価 90.6%）であった。感染症対策を講じながら、異学年交流や児童会活動、人権意識やいじめ防止、挨拶の励行等の意識を高める校内掲示、個人面談等で保護者から得られた情報に基づく対応をしてきた成果であると考ええる。

(3) 保護者アンケート「学校は、いじめ防止対策や心のアンケートなど、児童の心の安心・安全に取り組んでいますか」、児童アンケート「先生は、いじめがないように気をつけて指導してくれていると思いますか。」について、肯定的回答がそれぞれ 97.1%（内、A評価 55.2%）、99.0%（内、A評価 95.0%）であった。「いじめ防止基本方針」を改定し、いじめ防止対策の一層の徹底と早期発見・早期解決に努め、その他にも各種啓発活動を行っていることが保護者や児童に認められた表れである。

(4) 業務改善に係る教職員自己評価では、平均が 3.2 点（4 点満点）となり、昨年度から 0.1 点上がったものの、他の質問項目と比較すると低い結果となった。日々の業務から校内行事等まで多様な取組に目を向けて 32 の業務改善策を推進したが、コロナ禍における教育の充実に多くの勤務時間を要していた。今後も職員のコスト意識を高めつつ、時間の確保をすることが重要であると考ええる。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・エバンジェリストを中心に ICT 教育の専門性を高め、学校課題研究を通して学習用タブレットを効果的に活用した授業実践を行い、時代に即した授業力の向上を図る。
- ・業務のスリム化、会議の精選等、より一層の業務改善に取り組み、時間外在校時間の縮減を行う。
- ・学校運営協議会の発足を機に、家庭・地域・学校がより強固な信頼関係を構築する。